

令和8年 4月 12日

事業所名称…グループホームまごころの家・グループホームまごころの家こしばら

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和8年4月3日（金）14時～

出席者

事業所	3人	利用者	1人
利用者家族	1人	地域代表者	0人
松江市職員	1人	包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他	0人

グループホームまごころの家

令和8年2月～令和8年3月の活動内容

ご利用者について

入退去や入院…無

最年少81歳→最高齢97歳 平均年齢90歳 平均介護度 4.4 女性9名

誕生日会…1名 昼食時、豪華ランチを用意し皆でお祝いした。15時には、ケーキを用意し2度目のお祝いをした。

季節の行事…節分（節分ロール） ひな祭り（ひな祭りケーキ）

その他の活動…クッキング（焼き芋・チーズケーキ）DVD体操
フラワーアレンジメント 野菜植え等

外出状況…散歩、ご家族による、病院受診。

美容散髪…訪問美容（希望者8名）

受診…内海皮膚科往診（側弯症による皮膚剥離）

ヒヤリハット…1件 車椅子対応していたが、自力歩行していた。

身体拘束について…不必要な身体拘束になっていないか、見直しを行った。

虐待について…チェックシートを活用し振り返りを行った。

職員について

外部研修…無

自施設研修…2月 虐待・身体拘束・BCP（自然災害・感染症）
3月 BCP見直し（備蓄など）

その他…集団指導（感染症・BCP）

職員1名 圧迫骨折にて療養中

外部評価（3月23日）

消防訓練…3月26日 日中想定（避難誘導・通報訓練・消火訓練・火災報知器などの使い方について再確認）

ボランティア状況…近隣の方、ご家族の方から野菜、お花、ウエス、新聞紙で作ったごみ袋など沢山いただいた。

グループホームまごころの家こしばら

令和8年2月～令和8年3月の活動内容

ご利用者について

入退去…無

入院状況…1名 3月25日 胆嚢炎のため市立HP入院

最年少80歳→最高齢100歳 平均年齢94.8歳 平均介護度2.7 女性9名

毎月の活動…クッキング（鍋・花餅） パズル、折り紙、塗り絵、壁紙制作など

誕生日会…2月5名 2月15日に合同誕生日会を行った。

季節の行事…節分（恵方巻作り・豆まき）春分の日（お彼岸）おはぎ作り

外出支援（花見）

美容散髪…4月予定

医療受診…市立HP（骨折の為、定期受診・ご家族対応）

事故報告…無

苦情等…1件 ご家族面会時、15分～20分私語をしている職員がいた。

身体拘束…ご家族の了承を得て、センサー、ベッド柵を使用

身体拘束委員会にて話し合っている。変化があった際は随時話し合っている。

虐待について…虐待防止委員会にて話あっている（9月、12月に研修済）

職員について

外部研修…無

自施設研修…2月 感染症（ノロウイルス、インフルエンザ）

3月 BCP（感染症の予防及びまん延防止・ノロウイルス感染症発生時における業務継続訓練）

その他…集団指導（感染症・BCP）

外部評価（3月6日）

防災訓練…無

ボランティア状況…入居者様のご家族よりお菓子やウエス用の布や古新聞をいただく。

《意見交換》

まごころの家

外部評価を受けた。今回、全ご家族からアンケートの記入を頂いた。良い評価を頂いた。人員不足などにより、掃除が行き届いていないように思うと指摘を頂き、全職員で掃除について取り組んで行く。外部評価委員からのアドバイスとして、ご家族は、短時間来所した時間でしか、状況が分からないと思うので、実際、長い時間一緒に過ごしてもらうことで、現在の体力や食事量、食事のとり方など目に見えてわかるので、そんな機会を設けてみては？という事だったため、さっそく、職員会議で、令和8年度は、ご家族が参加できるイベントを計画していくようにします。

法人

掃除の指摘があったこと職員は、肝に銘じてほしい。ご家族は、職員に世話になっている思いがあり弱い立場、その中でも、言いにくいことを伝えてくれたことは、ありがた

い事。気を付ける場になった。

ヒヤリハットについて

1月に入院され、約3週間寝たきり、退院後、筋力低下により、車椅子対応していた。認知症もあり、以前のように歩行される事も十分考えられたため、鈴をつけさせていた。だき、鈴が鳴れば、都度確認していた。退院後10日程して、鈴の音をさせず、居室の前までシルバーカーを押して出てきたところを発見した。

法人

その後の対策を職員とどのようにして対策をしたかが知りたかった。

まごころの家

職員がシルバーカーを押して歩くと鈴が鳴るが、ご利用者の運転では鈴が鳴らない事に気が付いたため、シルバーカーと布団に鈴をつけ、シルバーカーを少しでも押すと鈴が鳴るように対策した。また、鈴が鳴った際や、近くを通った際には、必ず、様子を見させて頂く事にした。

こしばらホーム

苦情について、指摘して下さったのは、元職員で現在、お母様が入居中の方。ホームに面会に来ている間、15分～20分間、私的な話をしていました。周囲の職員もそれに関して、注意をしなかった。今回の件、全職員に周知し、接遇及び勤務中の私語に関する意識付けの再度確認を徹底した。タイミングをみて振り返りを行う事や今後も、意識付けの研修を行っていききたい。

また、自立度が高いので、楽しめる事もたくさんありますが、作品作りなど、他者が作った物で綺麗にできた物を「私の！！」と、けんかにならないように、日頃から、席や対応に配慮が必要。

松江市

介護職員不足、計画作成者担当者は経過措置ルールを設けないと人がいない。介護のレベルを維持しながら、介護や医療については、緩和という言葉は厚労省は使いたがらない。令和9年介護保険改定に向けて、医療連携について素案が出ている。今後、リリースしていきます。ご家族に対しても、早めに情報（値段が改定になりそうですなど）を提供して行ってください。

ご家族

日頃、お便りやカンファレンスで、様子を詳しく教えてもらっているが、母の日イベントなど、現状（ご飯の食べ方、体力など）を知る機会になるのでありがたい。

法人

明日どうなるかは、皆、分からない。桜は今の時期、外出支援に力を注いでほしい。まごころの家は、現在、職員が療養中で人員不足だったが、4月に新しい職員が入った。外出ばかりが支援ではないが、出来る限り9名の方に外気に触れて欲しい。職員が多い＝正義ではない。しかし、人が少ないと職員に負担がかかる。

ご家族

是非、外出支援をお願いします。

松江市

令和7年度第2回集団指導、ホームページにアップしました。令和8年は周知の年、

集団指導を何回かしていきます。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	◎
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	◎